科目ナンバリング	G-LAS15 80028 PJ18						
授業科目名<英訳>	問題発見型/解決型学習(FBL/PBL)L 1 Field based Learning/Problem based Learning (FBL/PBL) L1			担当者所属職名・氏名	工学研究科　教授　神吉　紀世子 工学研究科　教授　小森　雅晴		
群	大学院横断教育科目群	分野(分類)	複合領域系		使用言語	日本語	
旧群		単位数	2単位	時間数	60時間	授業形態	実習（対面授業科目）
開講年度・開講期	2026・ 前期集中	曜時限	集中 開講日程、場所は、グループごとに決めます（詳細は教員より通知）	配当学年	大学院生	対象学生	全学向

（工学研究科の学生は，全学共通科目として履修登録できません。所属部局で履修登録してください。）

[授業の概要・目的]

本科目は、FBL (Field based Learning)を通して、与えられた実世界の状況から解決すべき問題を発見するプロセスをチームで体験することで、デザインの実践を行い、デザイン理論とデザイン手法の習得を行い、また、PBL (Problem based Learning)を通して、与えられた実問題をチームで解決するプロセスを体験することで、デザインの実践を行い、デザイン理論とデザイン手法の習得を行う。

本科目では以下を目的とする。
FBL においては、(1)与えられた実世界の状況を観察し、分析することで、状況の構造を理解し、根本原因となっている解くべき問題を発見すること、(2)問題を発見するにあたって必要なデザイン理論を習得すること、(3)問題発見に必要なデザイン手法を習得し、プロジェクトの中で実践すること、(4)現実的に解決可能な問題を定義すること。
PBL においては、 (1)問題解決に必要なデザイン理論を習得すること、(2)問題解決に必要なデザイン手法を習得し、プロジェクトの中で実践すること、(3)実現可能な解決策を立案すること。

[到達目標]

・習得したデザイン理論とデザイン手法を用いて、現実社会における問題を発見し、解決可能な問題として定義できる。また、実現可能な解決策を立案できる。
・異なる専門領域のメンバーと円滑にコミュニケーションを取り、問題を共有し、協力して問題解決に取り組むことができる。
・社会が求めるニーズに対して、また、チームの中での、自身の役割を理解する。チームとして取り組んだ内容を、学内外の第三者に効果的に伝えることができる。

[授業計画と内容]

イントロダクション、1回
本演習の概要と、プロジェクトの進め方について説明する。
FBL/PBL実践、13回
プロジェクト毎にFBL/PBL進める。プロジェクトによって、毎週実施、離散的な実施、集中的な実施などの実施形態があるので、それに従うこと。
発表会、1回
プロジェクト毎に成果を発表する。
実施場所はプロジェクト毎に異なる（学内、学外フィールド）。受講生のキャンパスが異なる場合等の出席のための移動時間を削減する、または、対面出席が難しいと判断される場合にメディア授業（上記開講の8回未満）を利用する。

問題発見型/解決型学習(FBL/PBL)L 1 (2)へ続く↓↓↓

問題発見型/解決型学習(FBL/PBL)Ｌ１(2)

[履修要件]

特になし。ただし、各自の専門分野における分析能力・問題解決能力を有することが期待される。毎年度、具体的な授業計画（プログラム）は異なるため、随時、LMS上の科目サイトにて情報を掲載する。これらのスケジュールと調整し、プログラム実施担当教員とともに履修のスケジュールを組んでください。

[成績評価の方法・観点]

FBL (Field based Learning)/ PBL (Problem based Learning)を通して、デザインの実践を行い、デザイン理論とデザイン手法の習得することを到達目標とする。
・問題発見や解決に用いる手法の修得状況 5 割（レポートや試問による）
・問題発見や解決結果の質 2 割（レポートや試問による）
・チームへの貢献 3 割（教員の観察による）
・なお、8 割以上の出席を単位の前提とする（教員との相談による）

[教科書]

実習で用いる資料は、適宜配布する。

[参考書等]

（参考書）
実習で用いる資料は、適宜配布する。

（関連ＵＲＬ）
(授業中に指示する)

[授業外学修（予習・復習）等]

各プロジェクトの実施責任者から適宜指示する。学期の中盤に中間発表会を開催し、履修者間の情報共有、並びに他者からのフィードバックを得る機会とする。中間発表会には原則として全参加者に参加を求める。

[その他（オフィスアワー等）]

実施予定のテーマと日程について、前後期セメスター開始時などに、LMS上の科目サイトに掲載するので、内容を確認の上、履修登録および参加申し込みを行うこと。メールアドレス等もそこに掲載される。
履修希望者、履修生はこれをよく見てください。具体的な質問などは、アポイントを経ることとするので、メール等による質問を適宜受け付ける。

[主要授業科目（学部・学科名）]